宣	山高等専	 i門学校	開講年度	令和05年度 (2	2023年度)	授業科目			
科目基礎					2023年段)		<u>两件垒嵷关目</u>		
科目番号	E I FIX	0026			科目区分	東明 / 心が	友		
			<u></u>		単位の種別と単位	専門 / 必修			
授業形態				対象学年					
開設学科						1			
開設期					週時間数	2			
	科書/教材 はじめての船しごと、海文堂								
担当教員		福留研一	金山 恵美						
到達目標	Ē								
(1) 慣海 (2) ライ	性とシーマ フサイエン	アンシップを身 スやアースサ	·につけること ·イエンスと海事分	野の関りを理解し	自らの専門分野の問	問題解決に適用でき	きるようになることを目的とする		
ルーブリ			,, , , , , , , , , , , , , , ,			3,2,3,1,7,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1,1			
理想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベルの目安 未到達レベルの									
1 N S - 0	 D漕ぎ方に1	) <u> </u>	+		カッターを概ね漕げること		カッターを漕ぐことができない		
7399-0		2010	甘木		1				
ロープワークおよび国際信号旗			基本的な結索が旗の種類と意味を	できる, 国際信号 を理解している 	基本的な結索が概ねできる,国際 信号旗の種類と意味を概ね理解し ている		基本的な結索ができない, 国際信号旗の種類と意味をほとんど理解していない		
ライフサインスと海事	イエンスやえ	アースサイエ	ライフサイエンスやアースサイエ ンスと海事分野の関りを理解し自 らの専門分野の問題解決に適用で さる		(やアースサイエ)関りを理解して	ライフサイエンスやアースサイエ ンスと海事分野の関りを理解でき ない			
学科の至	リ達目標I	頁目との関係	系						
MCCコア和		> > 01	-						
教育方法									
概要	(1) 船員として要求される慣海性、チームワーク、リーダーシップ、コミュニケーション能力、忍耐力を養う								
授業の進め	カ方・方法	・基本的に	臨海実習場にて実	習を行う	* 1	4 TUT 1 5 1 1 4			
12.200						1班かアースサイコ	Lンスに関する講義や実習を行う		
		3 級海技コ   運用に関	I(肌海)船舶職員 国する科目 16単	養成施設、必要履   (位のうち 0.21	修科日 並位(船位诵報制度)				
			こ関する科目 16単位のうち 0.2単位(船位通報制度)						
		3 級海技コ	技士(機関)船舶職員養成施設 必要理由科目 一般に関する科目 3単位うち 0.5単位						
注意点			ンケートの結果より、技術習得スピードの個人差がある事を考慮しながら実習を進めていく。						
		授業アング	アートの結果より、	技術習得スピード	の個人差がある事を	と考慮しながら実習	習を進めていく。		
		評価が60:	点に満たないもの(	試験の結果,単位の修得が認められ					
		た者にあっ	が60点に満たないものは,願い出により追認試験を受けることが出来る.追認試験の結果,単位の修得が認め こあっては,その評価を60点とする.評価方法および評価基準は本試験と同じとする. こいれば、外での実習、雨天時は実習場内で行うので、予定が変わることがある。						
₩ <b>~</b> E	=.14		いる、外での天白、	附入時は天白物的	C11 202 C \ 1/XE/	アダクのここかので	ఎ.		
		多上の区分					T		
☑ アクテ	ィブラーニ	ング	□ ICT 利用		□ 遠隔授業対応		☑ 実務経験のある教員による授業		
授業計画	<u> </u>								
		週	受業内容			週ごとの到達目標			
		1週 2	洋実習の概要説明等			シラバスの説明、班編制、海洋実習の取り組み方、 Seamanship等の説明			
		2週 (	う漕		臨海実習場の説明、カッター各部の名称説明				
			<u>- 2/2</u> とう漕				カッターのこぎ方、各種号令について理解する		
			<u>- フ/ロ</u> アースサイエンス				海洋の構造と果たす役について理解する		
	1stQ		ーヘッ コエンへ う漕			カッターのこぎ方、各種号令について理解する			
			<u>- フ//i</u> 上う漕				カッターのこざ方、各種号令について理解する		
						ロープワーク			
		7週	支業(1) ————————————————————————————————————	業 (1)			国際信号旗(船位通報制度)		
		8週 扫	支業(2)	漢 (2)			ロープワーク 国際信号旗(船位通報制度)		
前期	2ndQ	9週 扫	菜(3)			ロープワーク (アイ・スプライス	ζ)		
		10週 「				第1週~第7週の内容の理解度を評価する。			
		11油	コッター観測(計画) 水塊構造,水質・海洋生物,底質・底生生物の観測			班別に適切な観測手法観測器具を検討・準備し、観測 計画を立案する			
		1 2 注目	・小鸡梅追,小質・海洋生物,感質・医生生物の観測 ウッター観測(計画) ・水塊構造,水質・海洋生物,底質・底生生物の観測			班別に適切な観測手法観測器具を検討・準備し、観測 計画を立案する			
		1 2 注目	リッター観測(実施) 水塊構造,水質・海洋生物,底質・底生生物の観測			計画に基づき各班でカッターを用いて観測を実施し、データを取得する			
			1ッター観測(まとめ,レポート作成のガイド)			観測にて取得してデータ、写真等を班で共有し、レポ			
			<u>`</u>			ート作成に向けて結果の可視化・考察を行う 第9调~第14调の内容の理解度を証価する			
				末試験			第9週〜第14週の内容の理解度を評価する。 		
		16週 「	答案返却   解説   授業アンケート調査						
モデル	アカリゴ	ヒュラムのき	学習内容と到達	日標					
<u> </u>	., ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,, ,	トユ フムのう	学習内容	:ロ1宗 学習内容の到達目:	<u></u>		到達レベル 授業週		
<del>'                                   </del>		ロンバギヤ	1十百四合	ナロハ台の到廷日	示		判) (サイン   1   1   1   1   1   1   1   1   1		

				太陽系を構成する惑星の中に地球があり、月は地球の衛星である		
				太陽水で構成する恐星の中に地球があり、月は地球の開星であることを説明できる。	3	
				地球は大気と水で覆われた惑星であることを説明できる。	3	
		ライフサイ エンス/ア ースサイエ ンス	ライフサイ エンス/ア ースサイエ ンス	陸地および海底の大地形とその形成を説明できる。	3	
				地球の内部構造を理解して、内部には何があるか説明できる。	3	
				マグマの生成と火山活動を説明できる。	3	
				地震の発生と断層運動について説明できる。	3	
	自然科学			地球科学を支えるプレートテクトニクスを説明できる。 プレート境界における地震活動の特徴とそれに伴う地殻変動など		
				フレート境外における地震活動の特徴とてれば作り地域を勤なとについて説明できる。	3	
				地球上の生物の多様性について説明できる。	3	
				生物の共通性と進化の関係について説明できる。	3	
				生物に共通する性質について説明できる。	3	
世で林らわられ、上				大気圏の構造・成分を理解し、大気圧を説明できる。	1	
基礎的能力 				大気の熱収支を理解し、大気の運動を説明できる。	1	
				大気の大循環を理解し、大気中の風の流れなどの気象現象を説明  できる。	1	
				海水の運動を理解し、潮流、高潮、津波などを説明できる。	1	
				植生の遷移について説明でき、そのしくみについて説明できる。	3	
				世界のバイオームとその分布について説明できる。	3	
				日本のバイオームの水平分布、垂直分布について説明できる。	3	
				生態系の構成要素(生産者、消費者、分解者、非生物的環境)とそ	3	
				の関係について説明できる。		
				生態ピラミッドについて説明できる。	3	
				生態系における炭素の循環とエネルギーの流れについて説明できる。	3	
				※。   熱帯林の減少と生物多様性の喪失について説明できる。	3	
				有害物質の生物濃縮について説明できる。	3	
				地球温暖化の問題点、原因と対策について説明できる。	3	
				船内生活の特殊性を理解し、仲間と協力し、指示を受けた作業を	2	
	分野別の工 学実験・実 習能力	商船系分野 (航海)【実験・実習能力】	練習船実習	安全に行うことができる。	2	
				船内においてコミュニケーション(英語を含む)をとる方法を説明できる。	1	
			実験実習	整列及び人員確認、敬礼方法等、集団行動の基本を理解し、実践	3	
				できる。		
専門的能力				端艇の各部名称及び漕艇号令を理解し、号令に従った操作をする ことができる。	4	
				基本的なロープワークを習得し、実際に結ぶことができる。	3	
		商船系分野 (機関)【実 験・実習能 力】	実験実習	整列及び人員確認、敬礼方法等、集団行動の基本を理解し、実践	3	
				できる。	3	
				端艇の各部名称及び漕艇号令を理解し、号令に従った操作をする ことができる。	4	
				基本的なロープワークを習得し、実際に結ぶことができる。	3	
				周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができ	2	
		態度・志向性		3.	_	
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	2	
				目標の実現に向けて計画ができる。	1	
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	1	
	態度・志向 性(人間力)			日常の生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	1	
			態度・志向性		2	
				る。		
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他  者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができ	3	
				る。	3	
分野横断的 能力				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる	3	
ריחנו					3	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。    リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	
				ウーターかとるべき行動が役割をありることができる。   適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内		
				での相談が必要であることを知っている	3	
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	2	
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	2	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	1	
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かってい	1	
				くために現状で必要な学習や活動を考えることができる。		
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき  能力」の必要性を認識している。	1	
	•		•	•		

評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100	
基礎的能力	10	0	0	0	0	10	20	
専門的能力	60	0	0	0	0	20	80	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	